

全建発第16～201号
平成16年9月17日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会長 鈴木 道雄



第493回建設技術講習会(管理行政の課題)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員9万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められております。

このたびの第493回建設技術講習会では、公共土木施設等の維持・管理に係る現状と課題及び今後の動向について学ぶとともに、公共施設をめぐる紛争事例や、施設の長寿命化、ITの活用、合理的更新など最新の管理技術を学ぶことを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬 具



全建発第15～271号
平成15年12月19日

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 北橋 建治

(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成16年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいております。厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められます。例えば、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、国、特殊法人等及び地方公共団体は、「職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」の果たすべき役割は従来にも増して一層重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成16年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

地方協会長 殿



社団法人 全日本建設技術協会
会長 鈴木道雄

第493回建設技術講習会（管理行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。
本協会では、平成16年11月17日（水）～11月19日（金）京都府（京都市）において標記講習会を開催いたします。
この講習会では、「公共土木施設等の維持・管理に係る現状と課題及び今後の動向について学ぶとともに、公共施設をめぐる紛争事例や、施設の長寿命化、ITの活用、合理的更新など最新の管理技術を習得する」ことを目的としています。
なお、本講習会は、国土交通省の後援のもと実施しています。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴講料：正会員・特別会員・賛助会員 8,500円〔うち昼食代1,600円（2日分）〕
非会員 13,500円〔 " " 〕
（聴講のみ参加も可能です）

現場研修料： 6,800円〔うち昼食代1,200円〕
（現場研修のみの参加はできません）

申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
当日の講習会場での追加申し込みは受け付けできません。

申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F
（社）全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店 普通預金口座 No. 0311142
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会
お振込の際必ず、振込者の名義のはじめに、開催回数の「493」をつけ加えて下さい。

申込締切日：平成16年10月22日（金）必着（お申込みが締切日以降に到着したものは受理できない場合があります。）

取り消し・返金について
申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

平成16年11月5日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成16年11月12日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金できません

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。
事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS）」に指定された講習会です。（CPDS登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第493回建設技術講習会 現場研修事業の概要について

1 街なみ環境整備事業 - 京町家の保全・再生 - 京都市中京区藪屋町姉小路地先他

街なみ環境整備事業とは、住宅等が良好な美観を有していないなど、住環境の整備改善を必要とする区域において、住宅、地区施設等の整備改善を行うことにより、地区住民の発意と創意を尊重したゆとりとうるおいのある住宅市街地の形成を図るものです。

京都市中京区の姉小路界隈では、

- ・住宅等の修景
- ・建築設備等の修景
- ・外構の修景
- ・色彩の修景

について、地域住民と協働で整備が進められている。



2 日吉ダム整備事業 京都府船井郡日吉町字中小字神子ヶ谷地先

日吉ダムは、水系桂川に建設された多目的ダムです。

従前より、この桂川は中流部に保津峡があるため急に河道が狭くなり洪水のたびに亀岡盆地に被害をもたらしてきたこと、また下流の京阪神地方の人口増加、生活水準の向上によって水需要が増大してきたこと等により、ダムが建設された。

日吉ダムは、平成10年4月に完成した 洪水調節、流水の正常な機能の維持及び都市用水の供給を目的とした多目的ダムであり、概要としては、流域面積29,000ha、重力式コンクリートダムで、総貯水容量66,000千m³、有効貯水容量58,000千m³となっており、総事業費は、約1,836億円です。



3 茅葺きの里「重要伝統的建造物群保存地区」 京都府北桑田郡美山町北地先

美山町は、京都府のほぼ中央にある、豊かな緑と、きよらかな水の流れを持つ自然美豊かな農山村地域です。

川に沿って建てられた民家のうちおよそ250棟は、昔ながらの茅葺き民家で、特に北集落は茅葺き民家が多く残っており、自然景観と、茅葺き民家がうまく調和して、日本の農村の原風景とも言うべき風情を呈しています。この集落は、文化庁の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている。



日本の重要伝統的建造物群保存地区とは

1975年の文化財保護法の改正によって伝統的建造物群の制度が発足し、城下町、港町、武家町、宿場町、商家町、山村集落、講中町、養蚕町、社家町、門前町、茶屋町、寺内町、在郷町、鉦山町、製塩町、製蠶町、製磁町、島の農村集落など日本の各地に残る歴史的な集落や町並みの保存が図られるようになった。地方自治体の市町村は、伝統的建造物群保存地区を定め、文化庁（文部科学省）はその中から価値の高いものを重要伝統的建造物群保存地区として選定し、保存事業への財政的援助や必要な指導・助言を行っている。

第 493 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊料金：宿泊希望者には京都市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
送金先：㈱日本旅行 東京法人営業部 Tel 03(3593)0321 Fax 03(3593)0688
 銀行口座 三井住友銀行日比谷支店 普通預金口座 2994790
 〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1（ニュー新橋ビル9F）
 お振込の際は、振込者の名義の前に開催回数「493」をつけ加えて下さい。
問い合わせ先：㈱日本旅行 東京法人営業部 Tel 03(3593)0321「全建担当デスク」迄
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成 16 年 11 月 5 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
〃 11 月 12 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舎名、宿泊料

講習会開催中、京都市内の宿泊施設は、大変混雑が予想されます。
お早めにお申し込みいただきますようお願いいたします。

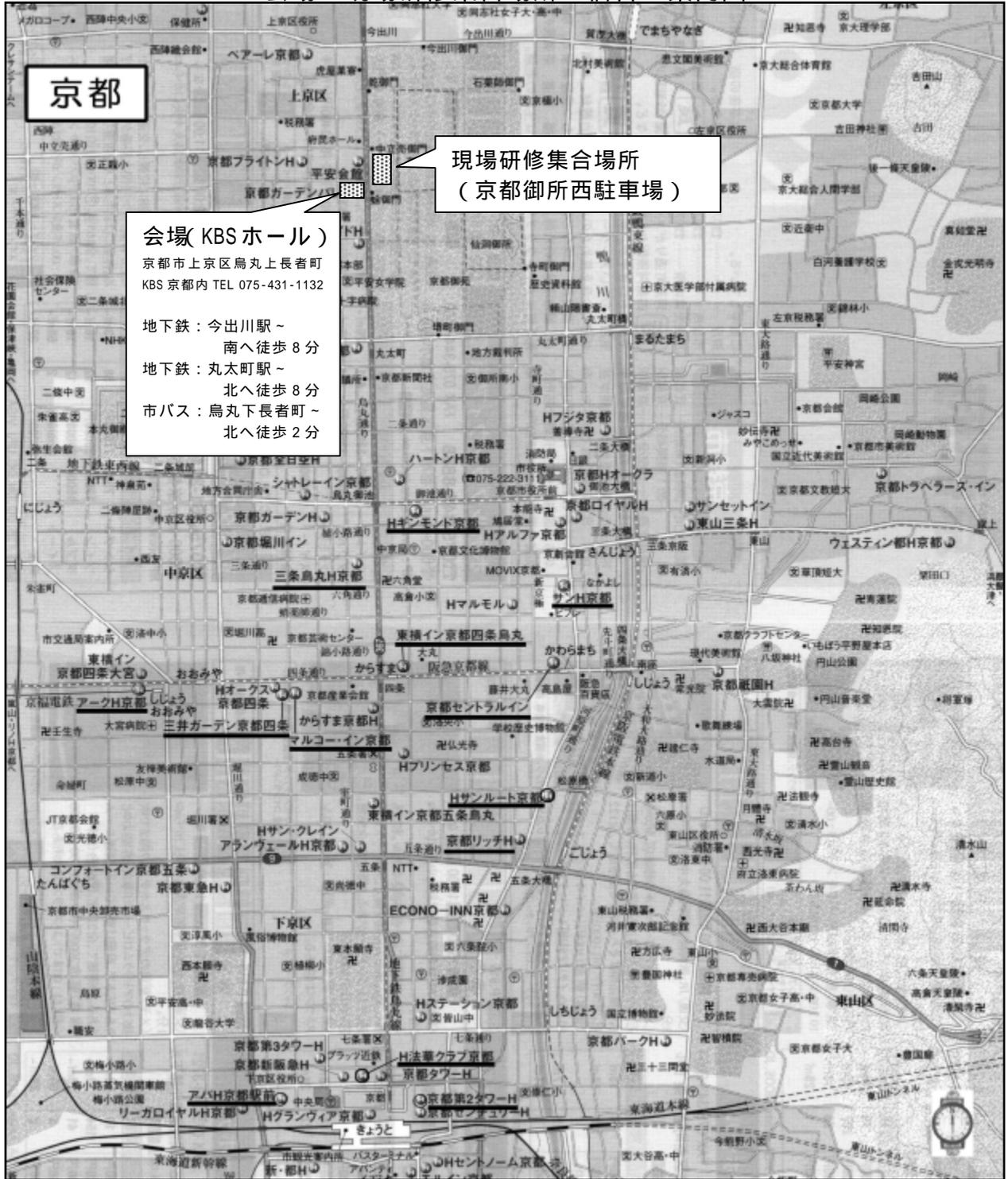
平成 16 年 11 月 16 日（火）・17 日（水）・18 日（木） （1 泊朝食付、サービス料・消費税含む）

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	ホテルサンルート京都	京都市下京区河原町通り松原下ル TEL：075-371-3711	シングル	9名	11,500円
	アークホテル京都	京都市中京区四条通り大宮西入 TEL：075-812-1111		20名	11,500円
	京都第2タワーホテル	京都市下京区東洞院通七条下ル TEL：075-361-3261		20名	11,500円
	三条烏丸ホテル京都	京都市中京区三条通烏丸西入 TEL：075-256-3331		2名	11,500円
	アパホテル京都駅前	京都市下京区西洞院通塩小路下ル TEL：075-365-4111		30名	10,500円
	三井ガーデンホテル京都四条	京都市下京区西洞院通四条下ル TEL：075-361-5531		30名	10,500円
	ホテルギンモンド京都	京都市中京区御池通高倉西入ル TEL：075-221-4111		2名	10,500円
	リノホテル京都	京都市右京区西院三蔵町17 TEL：075-316-1200		1名	10,500円
	アーバンホテル京都	京都市伏見区深草西浦町4-59 TEL：075-647-0606		40名	10,000円
B	京都リッチホテル	京都市下京区河原町通五条上ル西 TEL：075-341-1131		3名	9,800円
	サンホテル京都	京都市中京区河原町通り三条下ル TEL：075-241-3351		25名	9,600円
	マルコーイン京都	京都市下京区西洞院通四条南入ル TEL：075-361-0505		12名	9,500円
	ホテル法華クラブ京都	京都市下京区京都駅烏丸中央口正面 TEL：075-361-1251		10名	9,000円
	京都セントラルイン	京都市下京区四条河原町西入ル TEL：075-211-1666		15名	8,000円
C	京都第2タワーホテル	京都市下京区東洞院通七条下ル TEL：075-361-3261	ツイン (相部屋)	10室20名	9,500円
	三井ガーデンホテル京都四条	京都市下京区西洞院通四条下ル TEL：075-361-5531		5室10名	9,500円
	ホテルギンモンド京都	京都市中京区御池通高倉西入ル TEL：075-221-4111		3室6名	9,500円
	リノホテル京都	京都市右京区西院三蔵町17 TEL：075-316-1200		2室4名	9,200円
	ホテルサンルート京都	京都市下京区河原町通り松原下ル TEL：075-371-3711		10室20名	9,000円
	京都リッチホテル	京都市下京区河原町通五条上ル西 TEL：075-341-1131		3室6名	8,800円
	京都セントラルイン	京都市下京区四条河原町西入ル TEL：075-211-1666		10室20名	7,000円
宿泊斡旋人数合計				305名	

宿舎が決定次第、㈱日本旅行より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

会場・現場研修集合場所・宿舎 案内図



京都

現場研修集合場所
(京都御所西駐車場)

会場 (KBS ホール)

京都市上京区烏丸上長者町
KBS 京都内 TEL 075-431-1132

地下鉄：今出川駅～
南へ徒歩 8 分
地下鉄：丸太町駅～
北へ徒歩 8 分
市バス：烏丸下長者町～
北へ徒歩 2 分



社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____ 印
 (特別・賛助会員名)

第493回建設技術講習会(管理行政の課題)申込書

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現場 研修	宿泊予約金		
(フリガナ) 氏名 <small>(参加者が女性の場合は番号に 囲みして下さい)</small>	年齢		正 会 員	非 会 員			予約日にA,B,Cを 記入して下さい		
							11/16	11/17	11/18
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
聴講料						現場研修の 昼食は不要 の申し出は できません	宿泊予約金		
正会員・特別会員・賛助会員		名 × 8,500円 =	円		泊 × 4,000円				
" (昼食不要)		名 × 6,900円 =	円						
非会員		名 × 13,500円 =	円						
" (昼食不要)		名 × 11,900円 =	円						
現場研修料		名 × 6,800円 =	円						
計			円				計 円		

全建に振込

日本旅行に振込

お申込み後の変更、取り消し、追加に関してはお電話での受付はいたしません。本紙に変更、取り消し、追加箇所がわかるようにご記入いただき、再送と書いてFAXにてお送り下さい。なおこの場合、原本の郵送は不要です。(全建FAX 03 - 3586 - 6640)

(昼食について)
 昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
 昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。なお、当日会場においては、昼食の申し込みは受け付けできませんので、予めご了承下さい。
 現場研修の昼食について：
 現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。